

## 地域協働学部 ディプロマ・ポリシー

### 【知識・理解】

- ・ 第一次産業、地域の健康・福祉およびコミュニティに関する知識を中心に地域の産業および生活・文化に関する幅広い専門的知識を身につけている。
- ・ 地域計画、地域資源管理、商品開発に関する専門的知識を身につけている。
- ・ プロジェクトマネジメント、協働マネジメントおよびファシリテーションに関する専門的知識を身につけている。

#### 〔専門分野に関する知識〕

1. 地域協働に関する専門的知識を修得している。
2. 地域協働に関する専門的知識を地域で活用することができる。

#### 〔人類の文化・社会・自然に関する知識〕

1. 地域協働に関する基礎的で幅広い知識を修得している。
2. 地域協働に関する基礎的で幅広い知識を地域で活用することができる。

### 【思考・判断】

- ・ 複雑で多様な地域の特性を理解することができる。
- ・ 地域資源を開発・活用するための企画を立案することができる。

#### 〔論理的思考力〕

1. 論理的に考え、表現することができる。
2. 必要な情報を収集した上で、企画を立案することができる。

#### 〔課題探求力〕

1. 地域における課題を探求・発見することができる。

### 【技能・表現】

- ・ 地域計画、地域資源管理、商品開発に関する技法を身につけて、活用することができる。
- ・ プロジェクトマネジメント、協働マネジメントおよびファシリテーションに関する技法を身につけ、活用することができる。

#### 〔語学・情報に関するリテラシー〕

1. ヒアリング等を行って必要な情報を収集することができる。

#### 〔表現力〕

1. 地域の状況・地域の人たちの考えを知ることを通じて、状況を把握し、レポート等にまとめることができる。
2. 地域の特性や課題について、ヒアリング等を基に、その関係性を理解し、レポー

ト等にまとめることができる。

〔コミュニケーション力〕

1. 地域の人たちとコミュニケーションを取ることができる。
2. 地域主体の活動を知ることを通じて、地域社会に関心・共感を持つことができる。
3. 建設的なチームづくりに貢献することができる。
4. リーダーシップをとることができる。

**【関心・意欲・態度】**

- ・自ら人や組織の協働を作り出し、その活動を促進することができる。

〔協働実践力〕

1. 事業計画の達成に向けて、協働を組織し、持続的に実践することができる。
2. 学習プロセス（ワークショップ）を企画・構築することができる。
3. ワークショップをファシリテートしながら運営することができる。

〔自律力〕

1. 自己管理習慣を身につけている。

〔倫理観〕

1. 地域で活動するための基本マナーを身につけている。

**【統合・働きかけ】**

1. 商品（事業）開発及び事業計画の立案に必要な情報を収集し、商品（事業）開発することができる。
2. 事業計画の立案に必要な情報を収集し、事業計画を立案することができる。
3. 事業評価案を作成することができる。
4. 関係者の合意形成によって事業改善案をとりまとめることができる。